

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム 長善のさと

作成日: 令和 元年 6月 13日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24 (9-2)	現在使用している「状況・対応確認書」に得られた情報を記載する欄を作成する等、これまでの暮らしについて職員間の情報共有が容易になる方法を検討することを期待したい。	一人ひとりのこれまでの暮らしの把握が細かくできる。	情報共有するための用紙を作成するのか、現在使用中の状況・対応確認書の様式を変更するのかはスタッフと話し合いながら検討していく。同時に日々知り得た情報は確認書(またはフェイスシート)にどんどん書き加えていく。	12ヶ月
2	26 (10)	年間を通じて計画的にカンファレンスへの参加を利用者や家族に働きかけ、利用者や家族の意見や要望の変化に合わせて計画の見直しができることを期待したい。	家族、本人に必要な関係者で構成されるチームと本人とで現状に即した本人のための介護計画が作成できる。	継続して日常的に本人の言葉に耳を傾け、また面会時にはご家族の意見や要望を確認していく。必要時には家族や関係者が時間を取りやすい日時にカンファレンスを予定し、改めてそれぞれの意見やアイデアを反映して介護計画を作成する。	12ヶ月
3	1 (1)	理念を職員に浸透させることをより身近な取り組みにするために、常に職員が意識できるよう身近な場所に理念を掲示しておくなど今後の取り組みに期待したい。	理念が職員に浸透し、それを意識しながら日々のケアが実践できる。	利用者の空間に影響のない場所(休憩室や職員のみが出入りする倉庫付近等)に理念を掲示したり、スタッフ会議や日々のミーティングで定期的に振り返りの機会を持つようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月